

事業群評価調書(平成30年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	文化観光国際部文化振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	本多 敏博
事業群名	① 文化・芸術による地域づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)						(取組項目)				
子どもから大人まで、県内どこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供に取り組むとともに、若者文化を核としたまちづくりにも取り組んでいきます。						i) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な文化芸術に触れられる機会の提供				
						ii) 若者文化を核としたまちづくり				
						iii) 若い芸術家の支援と発表の場の提供				
事業群	指 標		基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において、離島地区や遠隔地を中心に実施している移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を10市町・計17回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催することにより、多くの県民が文化芸術を学び楽しんでいただく機会をこれまで13市町に提供することができた。 今後も、遠隔地を中心としながらも、県内全ての地域において文化芸術に触れる機会を提供することができるよう、計画的な事業の実施を図る。
	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)	目標値①		5	9	13	17	21	21市町(H32)	
		実績値②	0市町(H26)	9	13				進捗状況	
		②/①		180%	144%				順調	

2. 29年度取組実績(H30新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					29年度事業の成果等	中核事業						
				H28実績	うち一般財源	人件費(参考)	事業対象	29年度事業の実施状況 (30年度新規・補正事業は事業内容)	指標	主な目標	H28目標	H28実績	達成率								
				H29実績							H29目標	H29実績									
				H30計画							H30目標										
1	取組項目i	総合芸術祭費	S45-	7,812	0	1,609	県展実行委員会	長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県下各地で開催した。	活動指標	展覧会の回数(回)	6	6	100%	目標には達しなかったが、前年度より観覧者数は増加した。県民の芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動を普及促進することにより、本県の文化芸術の振興が図られた。	○						
				7,757	0	1,610					6	6	100%								
				文化振興課	8,292	8,292					1,600	成果指標	県展の観覧者数(人)			17,000	15,746	92%			
					17,000	16,511					97%										
2		文化団体助成費	S53-	13,715	0	4,021	長崎県文化団体協議会		県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行った。	活動指標	主催事業(自主事業)実施件数(件)	10	11			110%	近年、イベント規模が小規模化する傾向があり、参加者数は目標には達しなかったが、事業実施件数は増えた。様々な文化芸術分野や地域において、県民のニーズに応じた文化芸術活動の実施を支援することにより、県民文化の向上を図ることができた。				
				13,715	0	4,037						10	12			120%					
				文化振興課	13,715	13,282						3,998	成果指標			主催事業(自主事業)参加者数(人)			15,877	14,297	90%
					14,972	13,212						88%									

3	取組項目 i	長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館運営事業 (移動展等)	H17-32	3,611	254	805	県民	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館の移動展覧会やテレビ会議システムを活用した遠隔授業、出張授業、ワークショップ事業等を県内各地で開催し、優れた芸術・文化に触れる機会を提供した。	活動指標	—				離島地区や遠隔地を中心に移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を10市町・計17回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催し、多くの県民に文化芸術を学び楽しんでいた。機会を提供することができた。			
				4,603	0	805											
				4,734	0	800											
		文化振興課															
4	取組項目 ii	「描いてみんなね！長崎」事業	H28-30	2,153	0	2,413	出版社・作家	首都圏の出版社を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込むことにより、出版社と作家を本県への取材旅行に招聘し、マンガの作品化を実現した。	活動指標	創作を支援した出版関係者・作家数(人)	3	6	200%	漫画家や小説家、編集者3組を本県に招聘し、本県の豊かな地域資源を作品に活用してもらうことによって、本県の魅力を発信することができた。また、事業を実施する中で出版社との信頼関係を強化することができた。			
				1,568	0	2,423					3	3	100%				
				1,823	1,823	2,399					3						
		文化振興課															
5	取組項目 iii	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (地域の人材育成事業)	(H29 終了) H27-29	15,364	0	8,042	地域実行委員会	地域実行委員会等が、各地域の独自性・自主性を活かして行う、県内の若い芸術家の育成等に繋がる文化芸術活動を支援し、地域主体で地域の特長を活かした文化芸術の企画をマネジメントできる体制づくりと人材の育成を図った。	活動指標	イベントの実施回数(回)	5	7	140%	優秀なアーティストと地域をつなげることにより、文化芸術の人材育成や優れた演奏会などの機会提供が図られた。			
				13,698	0	8,046					6	7	116%				
		文化振興課															
6	取組項目 iii	しまと若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業	H30-32				地域実行委員会	文化芸術による地域づくりの推進と人材の育成を図るため、東京藝術大学、地元大学等と連携し、離島地域で「長崎しまの芸術祭」を開催するとともに、全県域における若者を対象としたワークショップ等の取組により「ながさき愛」を高め、交流人口の拡大・人口定着を図る。	活動指標	イベント実施回数(回)				—			
		文化振興課			23,632	10,567					7,996						

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な文化芸術に触れられる機会の提供

優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展入賞作品と地元作家の入選作品を展示する県展移動展や長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。

・県展については、H29年度は、県展への親近感を醸成する「オークション事業」や、協賛企業を増やすため会場内に協賛会員等PRコーナーを設置する「協賛会員PR事業」、協賛企業の増加、県展への親近感を醸成するための「入賞・入選作品貸出事業」など、展示事業以外にも出品点数を増加するための様々な事業に取り組んだが、出品点数は前年並み、観覧者数は5%の増となった。今後も県展の観覧者数を維持するため、引き続き、出品点数の増加など県展の活性化を図る必要がある。

・長崎県文化団体協議会については、芸術文化活動の活性化の参考としてもらうため、加盟団体の優良事例に関する冊子を作成し、配布した。また、自主事業である新人演奏会の出演者による出張公演等を実施した。引き続き、加盟団体の活動を活性化させることにより、県内各地における文化芸術の発表の場や鑑賞機会の確保に努める。

ii) 若者文化を核としたまちづくり

人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、若者が主体的に活躍できる新たな地域ネットワークづくりを推進することが重要である。29年度は、「描いてみんなね！長崎」事業では、出版社や作家を本県への取材旅行に3回招待し、本県を舞台としたマンガ創作の支援を行ったことにより、3件の作品化が実現した。今後も引き続き、本県をテーマとしたマンガ等の作品化を推進することにより、本県の魅力発信に努める。

iii)若い芸術家の支援と発表の場の提供

地域発「ながさき文化のちから」創生事業の取組の中で、東京藝術大学の講師陣と五島市の中高生、地域住民を結びつけた音楽セミナーや、全国的に著名な講師陣を招聘し雲仙市の地域資源である小浜中学校吹奏楽部を中心に県内外の中高生を対象とした雲仙マーチングクリニック、吹奏楽界のカリスマと呼ばれる活水女子大学教授による宇久島での吹奏楽セミナーを開催するとともに、それぞれの地域において成果発表コンサートを実施することにより、若い芸術家の受講機会と発表の場を提供した。佐世保市では、若者文化に着目したイベントとして「佐世保ダンスフェスティバル」を開催し、県内外から多くの若者が参加した。
・県主催事業としての認知度不足や財源の固定化などの課題を解決するため、30年度から新規事業「しまと若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業」を実施することにより、総合芸術祭として一体的に打ち出し、広く情報発信に努めるとともに、地域の自立を促すため国庫や協賛金など財源の多様化を進めることとしている。

4. 30年度見直し内容及び31年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	30年度事業の実施にあたり見直した内容 (H30の新たな取組は「H30新規」等と記載、見直しがない場合は「－」と記載)	31年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	総合芸術祭費	30年度は、前年度に引き続き高校生の参加を促すことや、今年度から各町長賞(8町)の創設を行うことにより、出品点数の増加に努める。	②⑥	31年度以降も、県展実行委員会と連携のもと出品点数を確保し、良質な芸術に触れられる貴重な機会提供を継続しながら、観覧者数を維持していく。	現状維持
2		文化団体助成費	30年度は、地域文化章の推薦団体に長崎県文化団体協議会加盟団体を追加し、文化団体の顕彰に関与する機会を増やし、同章の祝賀会と交流会を兼ねることにより、活動の更なる活性化を図った。	②⑥	31年度以降も引き続き、長崎県文化団体協議会と地域文化章の連携を推進するとともに、新人演奏会の出張公演等を充実することにより、文化団体の活性化を図るとともに、良質な芸術・文化に触れられる機会を提供する。	改善
3		長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館運営事業 (移動展等)	－	－	31年度も、引き続き未実施市町の学校や団体等と調整を行い、移動展覧会等の実施に努めていく。	現状維持
4	取組項目 ii	「描いてみんな！長崎」事業	30年度も引き続き、作家等の招聘を継続し、ノウハウの蓄積と出版社との更なる関係強化に努める。	②⑥	30年度までに、ノウハウの蓄積と多くの出版社との関係強化を図ることができたことから、30年度で一旦事業を終了する。31年度以降は、マンガに限らず、小説や脚本など他分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、放送局などより幅広い人的ネットワークの構築に努める。	拡充
6	取組項目 iii	しまと若者が輝く！文化芸術による地域ブランディング事業	H30新規	②⑤⑥	地域実行委員会と連携し、より高水準の文化芸術事業を継続できる体制の強化と人材育成を図り、総合芸術祭としての一体的な打ち出しや、一流アーティストの招聘、国庫や協賛金など財源の多様化を進めながら、更なる交流人口の拡大を図る。	改善

注：「2. 29年度取組実績」に記載している事業のうち、H29年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要があるかないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点